

緊急時に  
お役立ち

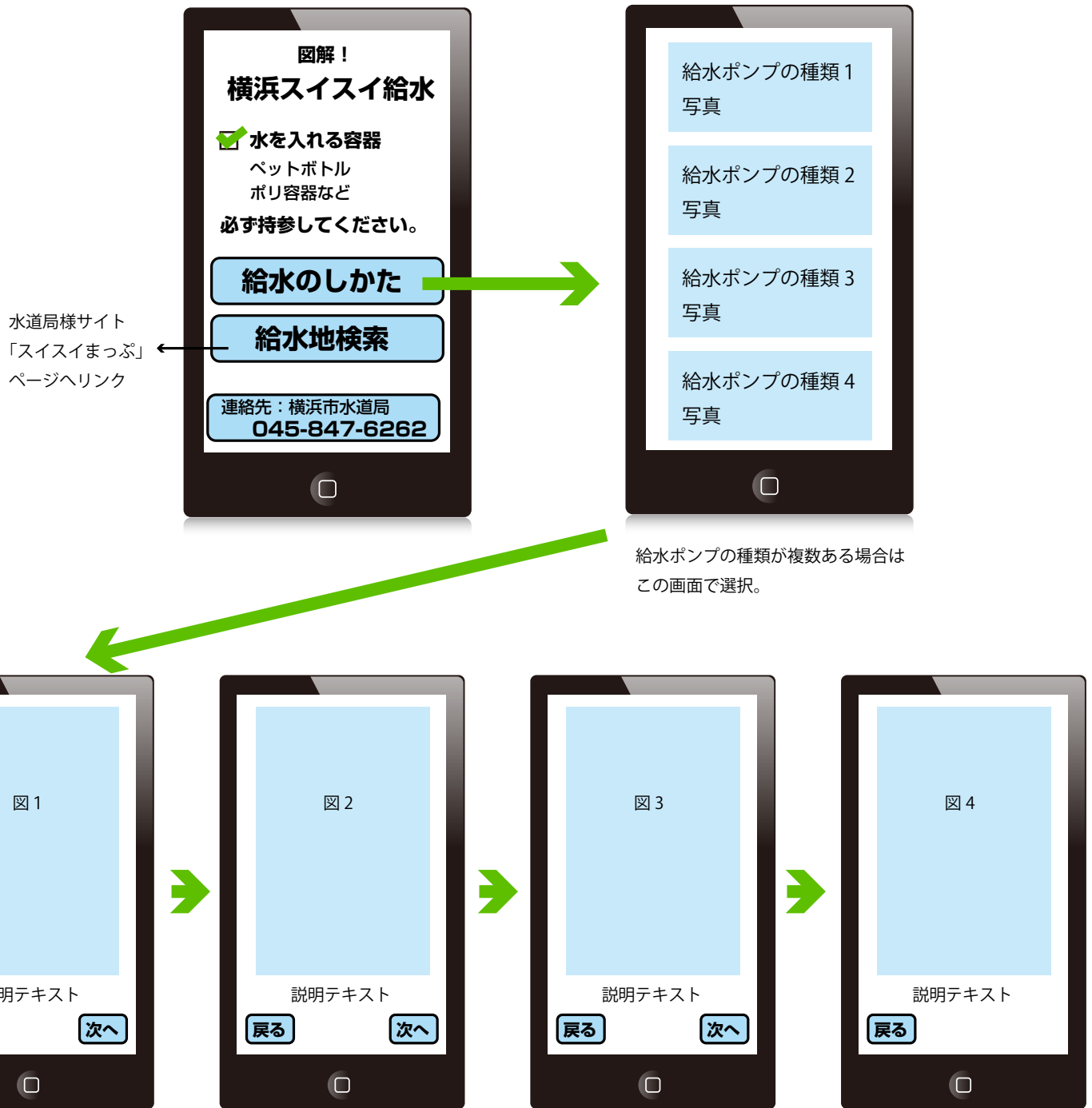
実用的

# 「図解！横浜スイスイ給水」アプリのご提案

緊急時の給水方法周知に特化したアプリ。

ターゲット：横浜市民全員

「給水の仕方を知ってもらう、実際に参照して操作できる」という目的がはっきりしているため、広報誌・サイト・あらゆる機会でのアピールしやすく実用的。直観的で誰でも分かる。



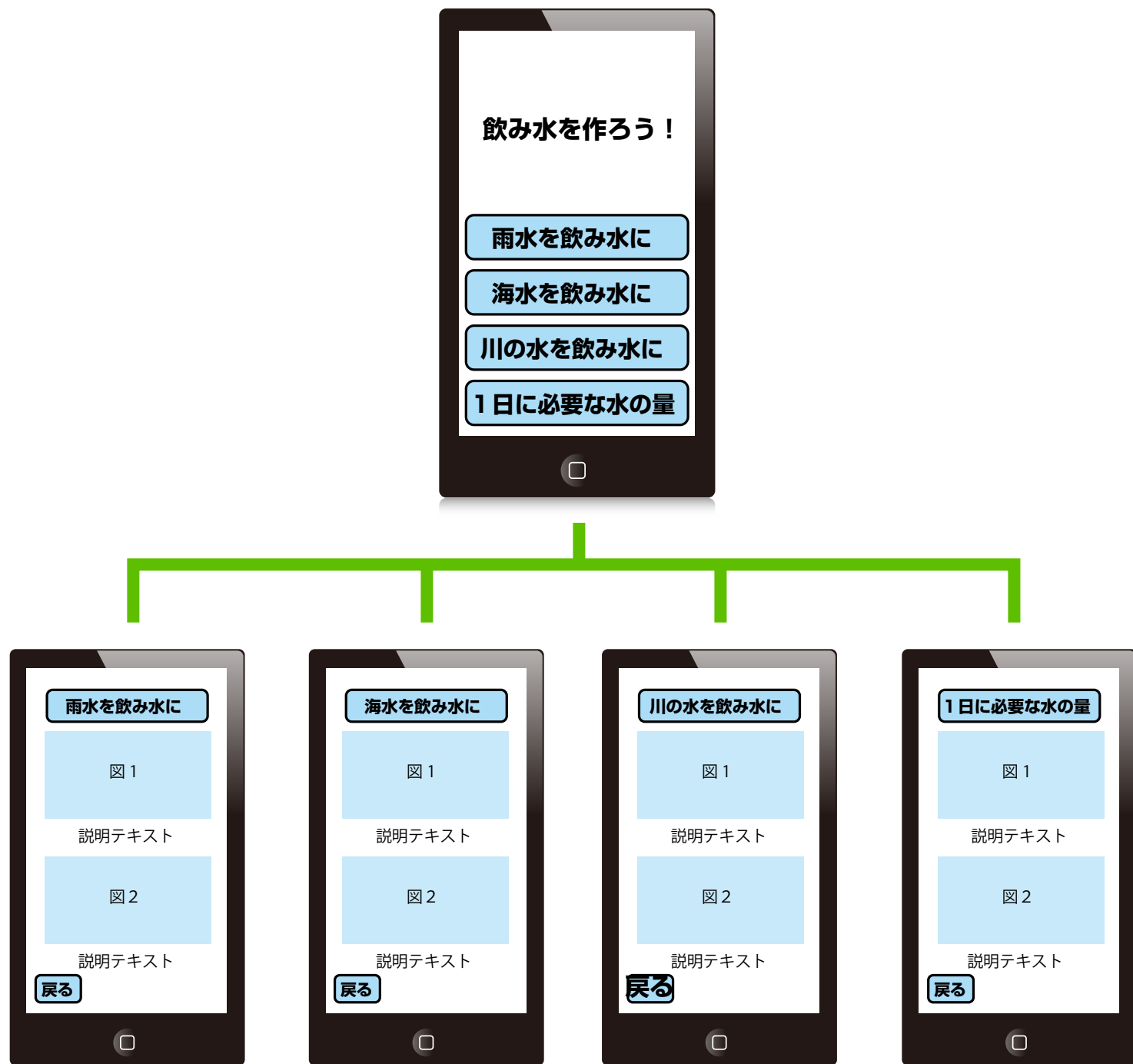
給水の仕方を図あるいは写真で説明。

# 「飲み水を作ろう！」アプリのご提案

水に関する豆知識を提供し、水に興味を持ってもらう。

ターゲット：横浜市民全員(キッズ)

濾過の方法や一日に必要な水の量といった、理科の教材としても活用でき且つ知的好奇心を持てる内容。



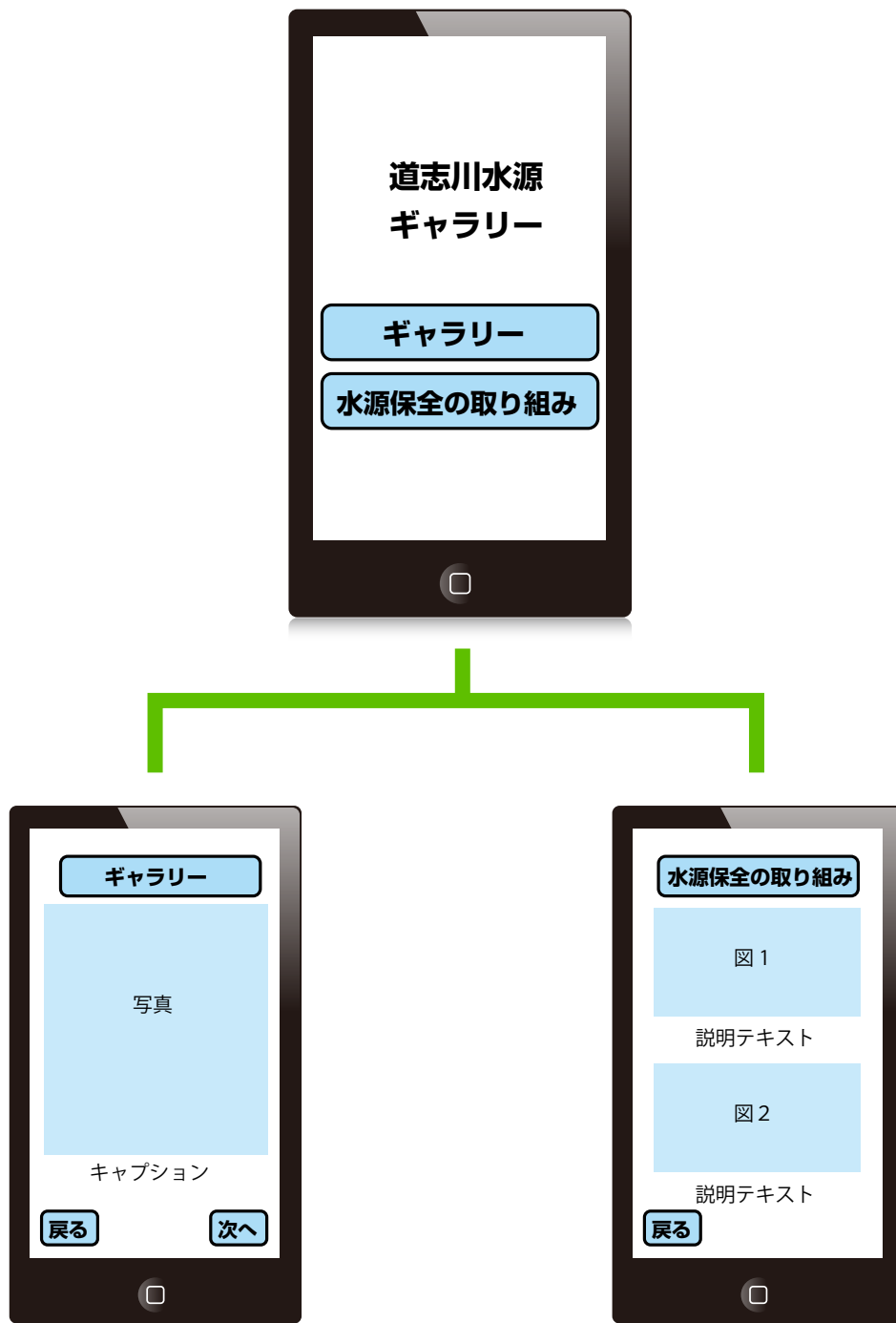
ボタンから各説明ページにリンク。

# 「道志川水源ギャラリー」アプリのご提案

水源を紹介することにより、水に興味を持ってもらう。

ターゲット：横浜市民に限らず広く一般

道志川水源を紹介することで、水源の環境保全や「水はどこからきているのか」など、水に興味を持ってもらう。



# シミュレーションゲームアプリのご提案

単純に知識を問うクイズではなく、シミュレーションを通して「考え方」を身に付けさせる。

## ポイント

知識を問うクイズは「覚えているか覚えていないか」というレベルの活動にしかならず、本当の意味で活用できる力をつけて欲しい場合は、「考え方」を身につけさせる必要がある。

これは、災害時の対応のような特定の場面に限ったものではなく、雨水が水道水になる流れなどについて考える場合も同様。何のためにどんな処理を行わなければならないのかといった事について考えられるようになって初めて、水について、あるいは水に限らず他の事象についても考えられるようになる。

ターゲット：横浜市民全員（キッズ）、教職員

## シミュレーションストーリーと問い：例

水は、どういう経路を旅するのか？



雨水として降り注いだ水を安全な水として家庭に供給するには、どのような経路をたどる必要があって、どんな処理をしなければいけないのか？

災害時、水道が出なくなったらどうするのか？



地震で水道が出なくなってしまった。では、生きるために必要不可欠な水はどうやって確保すればいいのか？

明確なテーマ

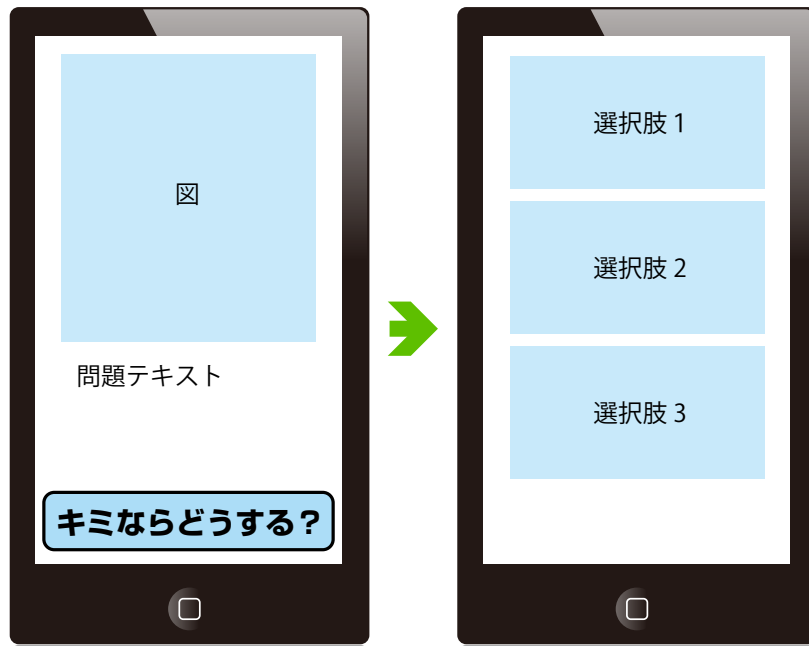
統一感のある設問

## アプリの意義

学校では、「水」をテーマにした授業が行われています。

例えば、現行の小学校の学習指導要領では、小学5年生の理科の単元に「ろ過」の内容が含まれています。このような学習に、「考える力」の養成に力を入れたシミュレーションゲームを活用することができれば、子どもたちが知識を得るのみでなく、実際に活用する力を身に付けることも期待できます。

また、ろ過装置を用意して実際に実験を行うことが難しい場合でも、ICTを活用して行うことができます。



フロー例

